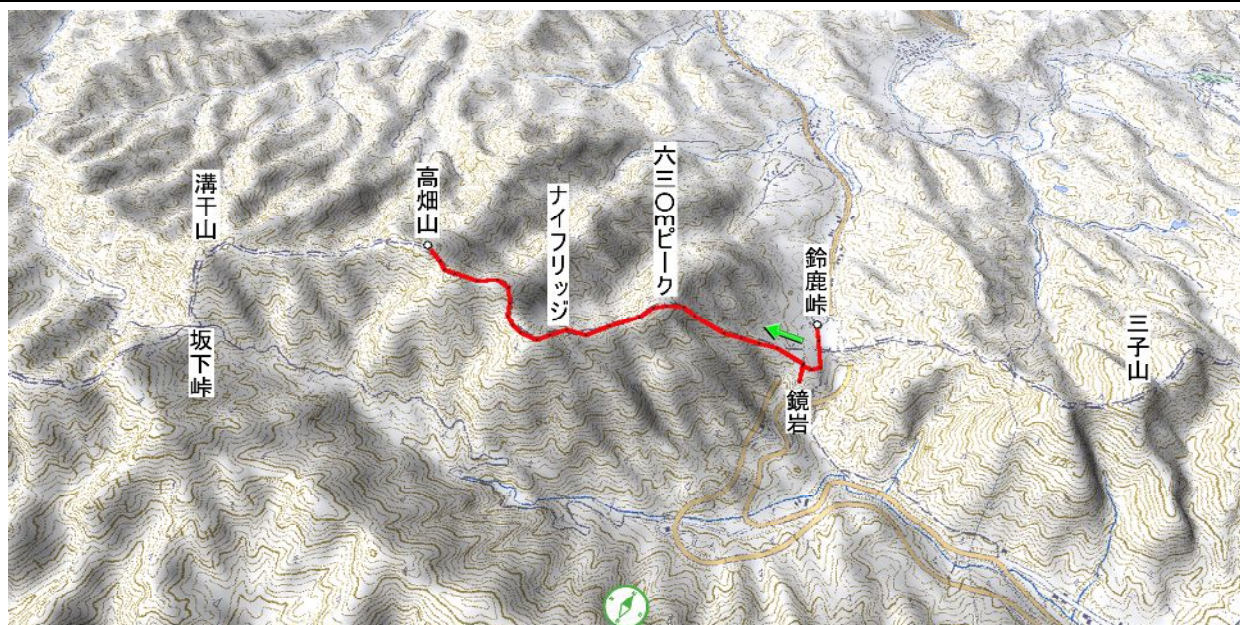


健康登山79:周辺の山37 (鈴鹿 高畑山)

|        |                                 |             |                          |              |      |
|--------|---------------------------------|-------------|--------------------------|--------------|------|
| コース    | 鈴鹿峠駐車場 0.9km/52<br>ピーク 0.7km/28 | 鏡岩 0.4km/11 | 630mピーク 1.1km/39         | 高畑山 1.1km/32 | 630m |
| 水平距離   | 4.2km                           |             | 断面図<br>縦軸：高度m<br>横軸：距離km |              |      |
| 水平換算距離 |                                 |             |                          |              |      |
| 累計高低差  | 登り491m、下り491m                   |             |                          |              |      |
| 標準歩行時間 | 2:42                            |             |                          |              |      |
| 実績歩行時間 | 3:03                            |             |                          |              |      |



山行報告

山行日 2012・9・6(木) 天候 曇り 参加者 7名

山科駅前8:00 鈴鹿峠駐車場9:00~9:07 高畑山登山口9:10 630mピーク9:50 ナ  
イフリッジ10:12 高畑山10:42~12:00(昼食) ナイフリッジ12:22 630mピーク  
12:48 鏡岩13:13~13:30 駐車場13:45~14:00 山科駅15:00

記 録

鈴鹿峠 高畑山 坂下峠 片山神社 鈴鹿峠周回も考えられるが、今回は往復コースとした。山科駅前から鈴鹿峠駐車場まで60km、1時間で着いた。駐車場には東海自然歩道の路傍休憩所がありトイレやベンチも整備されている。登山準備をして9:07出発、鈴鹿峠へ向かう昔の東海道と別れて滋賀県と三重県の県境稜線を高畑山に向かって登り始めた。

地図を見ると、登山口から山頂まで高度差400だが、途中で等高線が閉じた明らかなピークが四つある。最初の630mのピークまでは750mで250mを登る樹林帯の急坂でひと汗かいた。

このピークからはアップダウンを繰り返しながら登る稜線道で、所々で景色も見え、風もあって楽に登れた。途中にあるナイフリッジには固定ロープが張られていた。

崩落地を右に見ながら登ると、やがて高畑山に着いた。北に見えるはずの鈴鹿の主峰群にガスがかかって見えない。しかし近く的那須ヶ原山や南東の錫杖ヶ岳ははっきり見えた。

昼食をしながら1時間以上ゆっくりと至福のひとときを過ごした。

やがてガスが消えて15kmほど先の綿向山や雨乞岳なども見ることができた。記念撮影をして12時に下山開始。ナイフリッジはロープに掛りながら一人ずつ順番に下った。このナイフリッジは変化があって、このコースのよいアクセントになっている。

下山時に鈴鹿峠を見下す位置にある鏡岩に立ち寄った。眼下に国道1号線の上下線が別々に鈴鹿トンネルを出た景色が見られて面白い風景である。

鏡岩について次の表示があった。

東海道において、鈴鹿峠は「東の箱根峠、西の鈴鹿峠」といわれるほどの難所で、山賊がこの岩を磨き、そこに映った旅人を襲ったという伝説から「鬼の姿見」とも言われている。

駐車場に戻り、14時出発、15時山科駅へ戻った。夏場に歩くには、手頃なコースだった。

周辺の山 鈴鹿 高畑山



高畑山登山口  
自然歩道分岐  
9:08

急坂の登り  
9:41



ナイフリッジ  
10:12

ガレ場を登る  
10:13



山頂にて  
11:39

山頂からの展望  
綿向山、雨乞岳等  
11:57



下山開始  
12:10

ガレ場を下る  
12:21



鏡岩から俯瞰  
鈴鹿峠の1号線  
13:13

鈴鹿峠に戻る  
13:42





ナイフリッジのガレ場を登る 10:16



高畑山の展望 左から綿向山、雨乞岳、御在所岳、鎌ヶ岳、仙ヶ岳 11:58

名所・旧跡ミニガイド（周辺の山：高畑山）

参考資料 ホームページ他より

以下の内容はウィクペディア鈴鹿峠等の内容から抜粋して転記させていただきました。

高畑山：標高 773.3m 二等三角点

鈴鹿峠から南西に続く稜線上にあるピーク。

鈴鹿北部の山々に比べ標高は低いが山頂からの展望は引けをとらない。

旧鈴鹿峠から高畑山への登山道から脇道に天然記念物の「鈴鹿山の鏡岩」があります。

高畑山の名物「ナイフリッジ」という痩せ尾根があり、切れ落ちた砂礫地で、ザレ場となっています。滑らないよう慎重に通過します。

新旧二つのコースにロープがあり左のコースが無難だそうです。

【展望】360度

北東：綿向山、雨乞山、御在所岳、鎌ヶ岳、仙ヶ岳、野登山、臼杵ヶ岳、

南：大峰山系、局ヶ峰、曾爾高原、台高山系。

西：比良蓬莱山。比叡山。

東：明星ヶ岳やその周辺の山（錫丈ヶ岳、経ヶ峰）

南西：溝干山から那須ヶ原山への稜線。

みそほせやま  
溝干山から坂下峠を経て鈴鹿峠まで周回コースも可能。

高畑山から溝干山まで尾根道は歩きやすい行程 25 ~ 30 分。

尾根道からびわ湖が見える。伊勢湾もみえます。

溝干山山頂は展望なし。溝干山から坂下峠までは 100m の急な下り。

坂下峠から林道歩きになる。周回約 4 時間（歩行）

（この項は 64 回三子山ミニガイド高畑山部分の再録です）

鈴鹿峠の概要：鈴鹿峠（すずかとうげ）は、三重県亀山市関町と滋賀県甲賀市土山町の境に位置する東海道（国道 1 号）の峠。標高は 357m。

滋賀県側は比較的なだらかである一方、三重県側は高低差が急激であり、現在でも箱根峠に次ぐ「国道 1 号有数の難所」と言われるほど、険しい区間が多い。東海道本線や東海道新幹線、名神高速道路もその険しさによる難工事が予想された為に、このルート採用を断念した経緯がある。現在では鈴鹿峠を越える国道 1 号とほぼ並行するルートに新名神高速道路の鈴鹿トンネルが開通している。

鈴鹿峠の歴史：鈴鹿山脈のなかで最も低い位置にある峠で、古くから畿内から東国への重要なルートであった。壬申の乱に際しては、大海人皇子（後の天武天皇）

に味方した伊勢国司の兵が鈴鹿山道（鈴鹿峠）を封鎖している。飛鳥時代に現亀山市関町に鈴鹿関が置かれ、以後これより東を関東と呼んだが、当初は伊賀国を經由する加太越えの道が用いられていた。仁和2年（886年）、斎宮繁子内親王の伊勢行きを契機として鈴鹿峠を經由する新道（阿須波道）がひらかれ、その後明治にいたるまで東海道の本道として機能した。また、「鈴鹿山」と呼ばれる鈴鹿峠とその周辺の山地は、『後撰和歌集』以降歌枕として多くの和歌に詠まれた。

盗賊の横行する場所としても名高く、新道開通12年後の昌泰元年（898年）には伊勢神宮への勅使一行が襲撃され、以後鈴鹿山の盗賊はたびたび史書に現れることとなる。こうしたなかで、坂上田村麻呂による鬼退治や、女盗賊立烏帽子（鈴鹿御前）の伝承が生まれた。峠をへだてて滋賀県側には土山の田村神社が、三重県側には坂下の片山神社があり、それぞれ田村麻呂や鈴鹿御前を祀り、室町時代・江戸時代を通じて東海道の旅人たちの守護神として崇敬された。

江戸時代には東海道五十三次として坂下宿・土山宿が整備されたが、明治23年（1890年）に草津-柘植-四日市間に鉄道が開通したことにより、東海道の要衝としての地位を失った。現在の鈴鹿峠は自動車社会の急速な進行に対応すべく国道整備が進み、旧街道は東海自然歩道の一部として残っている。